

公表		事業所における自己評価総括表	
----	--	----------------	--

○事業所名	児童デイサービスコドモノ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 7日		～ 2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 3月 7日		～ 2025年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動を取り入れ、児童にさまざまな刺激を提供し、興味や得意なことを見つけ、成長を促す環境を整えている。	新しいゲームや体験を都度提供することで楽しく学べるよう工夫している。個々の発達段階に合わせて難易度を調整し、成功体験を積めるよう配慮している。他児童との関わりを促し、協力が必要なプログラムを取り入れ、コミュニケーション力を育む。	地域交流や季節のイベントなど新しい体験の機会を増やす等、活動の場を広げることを検討。より個別の興味に応じたプログラム強化を行う。ブログ以外にも通信等を発行する等、保護者との共有の強化について検討する。
2	安心感を持って通うことができている。	肯定的な言葉掛けを意識し、安心感を提供することを心がけている。やってみたいという気持ちを引き出せるような活動を提供し、その中で小さな成功を積み重ねられるような促しを意識している。失敗した時も否定せず、前向きな気持ちになれるような普段の関わりやSST活動でも取り組んでいる。	視覚支援を更に充実させることで、より安心感を得られる環境作りを行う。保護者の意見を取り入れながら、より安心して通える環境を整える。協力型の遊びやゲームを更に増やすことで、他児との関わりをポジティブに体験できる機会を提供する。
3	特性に応じた支援発達レベルの異なる児童一人ひとりに寄り添い、できることや課題を見極め、個々のペースに合わせた支援を行っている。	児童の発達状況を定期的に評価し、適切な支援を調整 同じ活動でも、内容やサポートの仕方を個別に工夫する等して活動の難易度や方法を調整している。 小さなステップで成功体験を積み、達成感を得られるような支援を行っている。	個々の興味や得意なことを更に活かした活動をすることで学びや成長をよりいっそう促す支援を行う。 支援の成功事例を共有し、より良い方法を常に模索するなど職員間での情報共有をより密なものとする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練について行っているが、周知が足りていない。	訓練の実施について、ブログや連絡帳など保護者へ伝える手段が限られている。	ブログの他に連絡帳や通信等で訓練の実施報告を行い、写真を活用して視覚的に伝えることや、ブログのリンクをQRコードにして連絡帳や通信に貼る等について検討。 。通所中に災害が発生したら、どのように対応するかなどをお知らせとして配布する等、今までの取り組みとは違った方法も検討。
2	保護者同士の交流が少ない。	年2回の家族参加型行事以外に、日常的に保護者が顔を合わせる場が少ない。父母会や茶話会がないため、交流できる場が不足している。	茶話会、父母の会など気軽に参加できる場を増やす。自然な流れで交流が生まれる場よう行事後に自由参加の座談会を設ける。親子レクリエーションなど子どもと一緒に楽しめる場を増やす。
3	地域に開かれた行事など、地域との関わりが少ない。	地域参加型の行事を開催しておらず、自然な関わりが生まれる場がない。求められているかも定かでなく、検討の段階から進展がない。	近隣保育園との合同活動(レク、工作、遊び他)の実施など小規模な交流イベントの開催や、地域のイベントへの参加、地域の方々も参加できる行事についての開催を検討する。